

団体名	第13回岡山県こども備前焼作品展実行委員会 代表者:委員長 伊勢崎 競 記載者 事務局:家嶋
所在地(市区町村名のみ)	岡山県備前市
活動目的	岡山県(備前市)の伝統文化である備前焼を通して、 次世代を担う児童生徒が豊かな感性や創造性を養い活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献する。
団体の紹介	岡山県の伝統文化である備前焼を通して、次世代を担う児童生徒が豊かな感性や創造性を養い、活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献することを目的として設立され、13回目のこども備前焼作品展を実施する。構成員は、協同組合岡山県備前焼陶友会会員で、かつ備前焼の卓越した制作技術を持つ伊勢崎競委員長をはじめ、陶友会理事長・青年部会長、市内学校長及びこども園園長、そして市教育長等で構成し、産学官で連携しながら、こども備前焼作品展を実施する。
助成を受けての活動内容	第13回岡山県こども備前焼作品展の実施 六古窯として日本遺産に認定されている「備前焼」について、日本の伝統工芸として広くこどもたちに伝統文化の継承をはかるため、6月に市広報紙やホームページに募集要項を掲載した。市内高等学校、前年度出品校園、過去に出品歴のある団体等に出品の案内・参加依頼を実施し、その結果、近年出品がなかった学校園からも出品が有ったり、応募作品の増加につながった。 8月1日(月)から9月2日(金)出品申込の受付を実施し、9月16日(金)リフレセンターびげんで、岡山県備前焼陶友会会員である備前焼作家の審査員により審査会を実施し、982点の作品の中から、102点の受賞作品を選定した。 10月15日(土)・16日(日)に3年ぶりの備前焼まつりに合わせ、入選及びその他全作品(940点)をリフレセンターびげんで、特別賞、優秀賞受賞作品(42点)を対象とした作品展を備前焼ミュージアムで開催した。受賞作品及び制作者をリーフレットにまとめ、入場又は来館者は元より、広く市内の文化施設に配布した。
助成を受けての成果	市内の全ての保育園・認定こども園から高校、市外の前年度出品校園のほか、過去に出品歴のある学校などへの広報活動により、982点と多数の応募があった。特に今年は中学生の作品が多く、いずれも完成度が高い作品だった。市内と市外の出品校のこどもたちには当事業への周知が進みつつあり、備前焼及びその制作についても普及してきていると考える。 作品展示については、備前焼まつりに合わせて展示したことにより約1,200人の来場があり、多くの人に備前焼及び当作品展の周知ができたと思う。また、特別賞・優秀賞の作品を、より格式の高い備前焼ミュージアムに展示することにより、多くの方に長期間鑑賞いただけることで、制作者である子どもたち自身が、より良い賞が受賞できるよう、志を高く持って備前焼制作に取り組んでもらえるのではないかと考えている。
今後の活動の課題点	982点と多くの応募があり、前年と比べ出品数は約80点増加したものの、小・中学生は学校・クラス単位でテーマを決めた作品も多く、また、キャラクターから着想を得た作品も見られた。審査員からは、焼き物の用途としての美や、子どもらしい自由な発想を生かした作品の出品を求める声が多い。今後も、自由な発想や焼き物としての用途に重点を置いた作品をどのようにしたら制作していただけるかを考えていきたい。そして、この審査ポイントをどう周知していくのか、さらには出品しやすいような工夫を行いつつ、各校園とも協力を継続しながら、永続的に作品展を実施していきたい。
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	岡山県こども備前焼作品展実行委員会 事務局:備前市教育委員会教育文化振興課教育文化振興係 Tel0869-64-1837 FAX0869-64-4285 e-mail:bzbunka@city.bizen.lg.jp

●応募作品の展示（※特別賞・優秀賞受賞作品を除く。）※備前焼まつり同時開催を予定
日 時 令和4年10月15日（土）9時～17時／10月16日（日）9時～15時
場 所 リフレセンターびぜん体育室（備前市伊部2264-2）



●特別賞・優秀賞受賞作品の展示
日 時 令和4年10月12日（水）～11月27日（日）
場 所 備前市立備前焼ミュージアム4階ギャラリー（備前市伊部1659-6）
入場料 こども備前焼作品展のみへのご来場に関り無料



●審査会
日 時 令和4年9月16日（金）
場 所 リフレセンターびぜん体育室（備前市伊部2264-2）
審査員：伊勢崎競、藤原康、大石橋宏樹、協）岡山県備前焼陶友会青年部4名

